



ウチエの手すり

タスカル手すり

品番： TT-1030

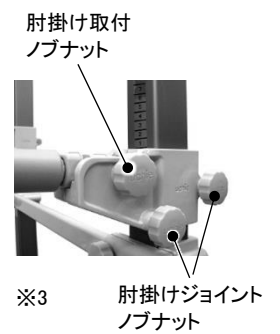
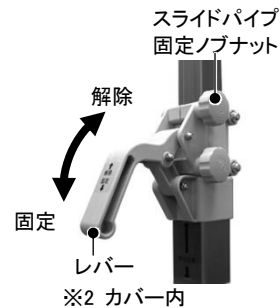
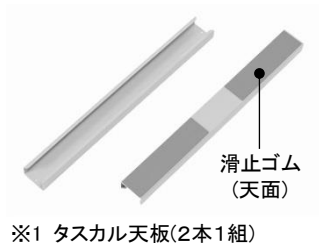
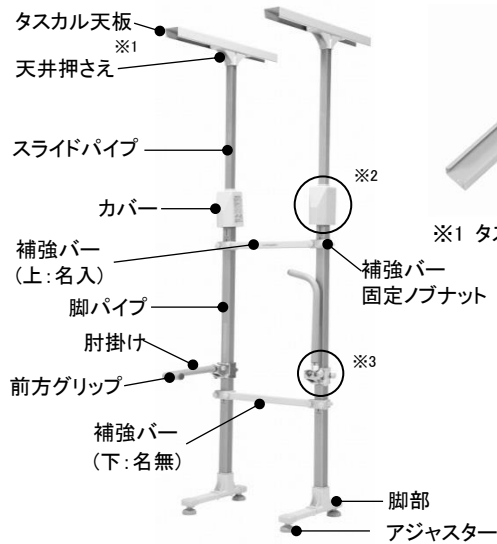
ご使用のしおり

※設置や移動、撤去は必ず事業者の方が行ってください。

このたびは、弊社の『タスカル手すり』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ・本書は必ず保管しておいてください。
- ・設置や移動、撤去は必ず事業者の方が行ってください。
- ・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡してください。
- ・お買い上げの手すりは改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

各部名称

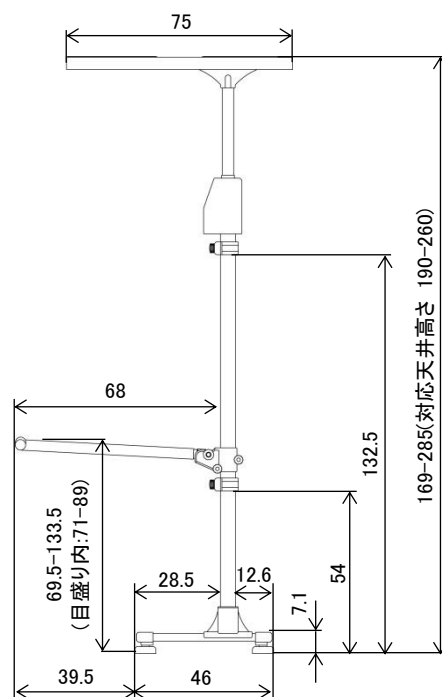
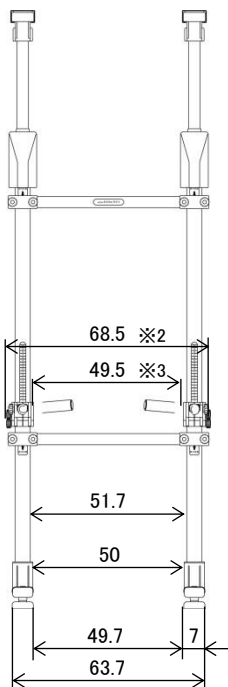
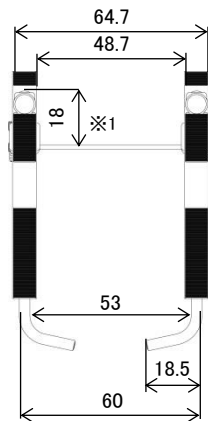


付属品 ・ご使用のしおり(本書)

※滑止ゴム(タスカル天板、天井押さえ、アジャスター)は消耗品です。汚れや損傷が激しく、滑り止め効果が発揮されない場合は新品と交換してください。

寸法図

単位: cm



仕様

材質	肘掛け	ステンレス、アルミ合金 クッション/合成ゴム、PVC
	タスカル天板	アルミ合金、合成ゴム
	天井押さえ	ポリアミド、合成ゴム
	カバー	ポリプロピレン
	レバー	ポリアミド
	補強バー(上下)	アルミ合金
	スライドパイプ	アルミ合金
	脚パイプ、脚部	アルミ合金
	アジャスター	合成ゴム
重量		約 14.4kg (タスカル天板 2 枚含む)

サイズ

単位: cm

幅	68.5
奥行	85.5 ~ ※4
高さ	169 ~ 285
座幅(肘内~肘内)	53
肘外~肘外	60
床から肘掛け	69.5 ~ 133.5 (目盛り範囲: 71 ~ 89)
肘掛け直径	3.5
肘掛け長さ	68
対応天井高さ	190 ~ 260
タスカル天板サイズ	幅 8x奥行 75

※4 タスカル天板の取付位置により変わります。

※1:脚部アジャスターから補強バーまで。

※2:肘掛けジョイントノブナット間。肘掛け取付ノブナット間は、約 67.5cm。

※3:肘掛けジョイントノブナットを内側に取り付けた場合は約 45cm。



設置前の注意事項

- 使用者による設置や移動、撤去は行わず、必ず事業者の方が行ってください。手順どおりに設置しないと製品が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 製品に破損やさびなどの劣化がないか確認してください。損傷が激しい場合は設置せずにお買い求めの販売店、または弊社までご連絡ください。
- 室内専用です。屋外では使用しないでください。
- 滑止ゴム(タスカル天板、天井押さえ、アジャスター)は消耗品です。傷や摩耗が激しく、滑り止め効果が発揮できない場合は交換してください。
- タスカル天板は、タンク側の天井の端までピッタリ寄せて設置してください。
- 次の天井に設置しないでください。
 - ・土や砂地などの崩れやすい天井やひび割れのある天井
 - ・傾斜のある天井
 - ・梁のない天井
 - ・強度が不足している天井
- 塗装仕上げの天井に設置すると、塗装がはがれるおそれがあります。
- クロスなどが劣化している天井には設置しないでください。クロスなどがはがれるおそれがあります。
- 取り付け強度が不足しているため、次の床に設置しないでください。
 - ・土や砂のある床
 - ・簡易的に板などを置いて補強している床
 - ・段差や傾斜のある床
 - ・やわらかい床やマット、じゅうたんなどを敷いた床
 - ・濡れている床や水の掛かる床
 - ・滑りやすい床
 - ・強度が不足している床
- 設置する天井と床の数か所を手すりなどで軽く突き、天井や床の強度を確認してください。強度が不明な場合は施工された業者に確認してください。
- 天井や床の材質によっては設置跡が残る場合があります。また、長期間の設置によって設置跡が残ったり、色が付着する場合があります。
- 上下の補強バーは、50cm 以上離して取り付けてください。
- スライドパイプ上部に赤色ラインが見える場合は設置強度が不足しています。設置しなすか、使用しないでください。本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 垂直に設置してください。ななめに設置すると本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。設置後は前と横から確認、または、垂直器などで確認してください。

■設置前の確認

- ・天井や床の強度をかならず確認してください。
- ・滑止ゴム(タスカル天板、天井押さえ、アジャスター)に滑り止め効果があるか(劣化していないか)確認してください。
- ・設置可能かどうか、P1 の寸法図で設置環境を確認してください。

洋式トイレに設置する場合の確認事項

- トイレの間取り
設置作業に必要なスペースも考慮してください。また、前方グリップを開き切るには、幅 91cm 以上必要です。
- 便座フタ高さの確認
補強バー(下)の下側高さ以内(54cm 以下)。54cm 以上の場合は、補強バー(下)の取付位置を上げてください。ただし、上下の補強バーは、50cm 以上離して取り付けてください。
- 便器、タンク幅(水洗レバー含む)
 - ・脚部間(49.7cm)や脚パイプ間(51.7cm)に納まっているかどうか。
 - ・肘掛けジョイントノブナットを内側に付ける場合は、45cm 以内に納まっているか。(本書は外側に付け)
 - また、水洗レバーが干渉しないかどうか。
- ウォシュレットの給水ホース位置の確認
干渉しないかどうか。

■取り付け可能な天井高さ

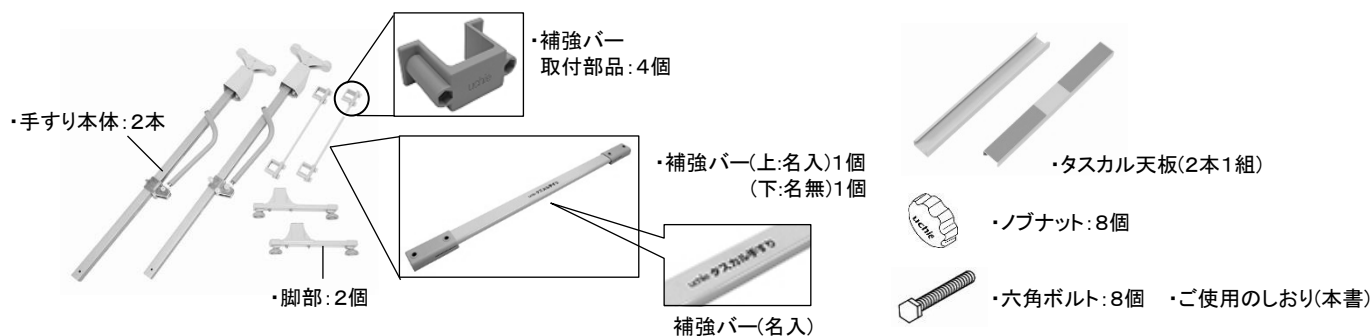
- ・天井高さ 190cm～260cm



注意 ※天井高さ 190cm 未満、260cm 超の天井には設置しないでください。

■部品の確認

開梱後、下記の部品がすべてそろっているか、破損していないか確認してください。万一不足している部品や破損している部品がある場合は、販売店、または弊社までご連絡ください。



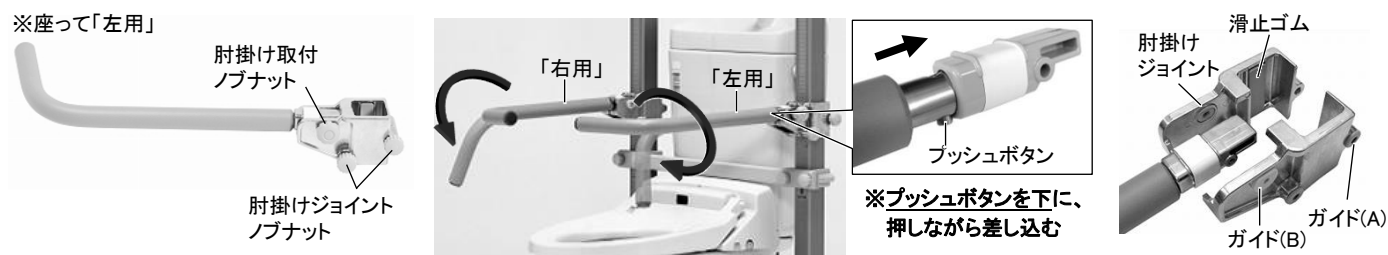
■肘掛けの組立

※本書では本体を設置する前に肘掛けを組み立てていますが、設置後でも組み立て可能です。

※肘掛けを追加で取り付けの際は、下記手順で取り付けてください。

※肘掛けには「右用」、「左用」があります。左右を確認して取り付けてください。(外に開き、内に閉じる)

※滑止ゴムは消耗品です。傷や摩耗が激しく、滑り止め効果が発揮できない場合は交換してください。



部品の確認

※片側分

・ガイド(A)2個



・肘掛けジョイント
M8 用ノブナット2個



・六角ボルト2本



・ばね座金 2 個



・ガイド(B)2個



・肘掛け取付
M6 用ノブナット1個



・なべねじ1本



・座金 4 個

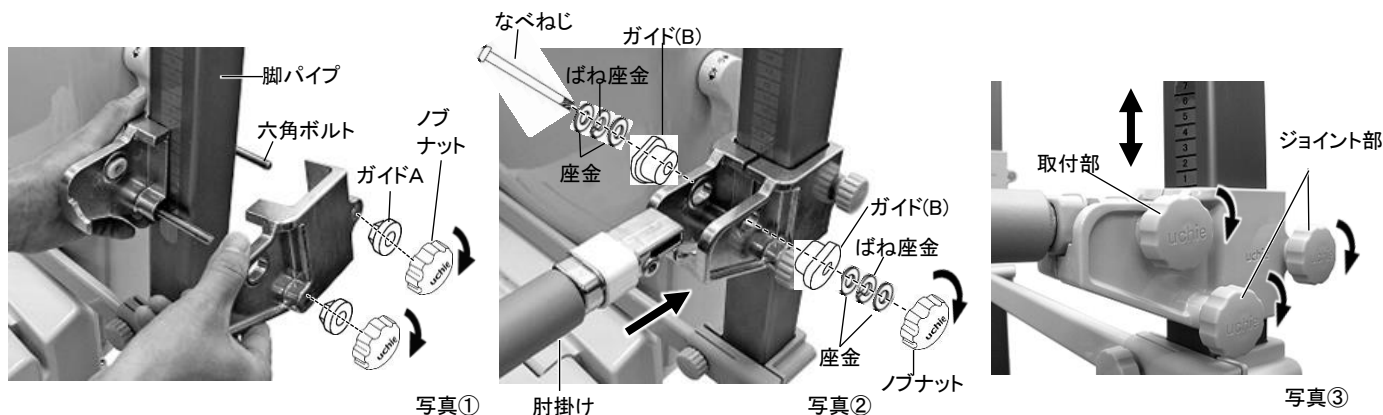


1.肘掛けジョイントの 2 ヶ所に六角ボルトを通して脚パイプを挟み、ガイド(A)を入れてノブナットを仮止めしてください。(写真①)

※六角ボルトは内側、外側どちらからでも取り付け可能です。設置環境に合わせて取り付けてください。

2.肘掛けを差し込んで肘掛けジョイントにガイド(B)(平を上)を両側に取り付け、内側から座金、ばね座金、座金を入れたなべねじを通してください。通したなべねじに座金、ばね座金、座金を入れてノブナットで仮止めしてください。(写真②)

3.肘掛けの高さを調節し、肘掛けジョイント2ヶ所、肘掛け取付1ヶ所のノブナットを確実に締めてください。(写真③)



■設置方法-脚部以外を組立搬入する場合-

⚠ 注意

※製品の設置は必ず事業者の方が行ってください。手順通りに設置しないと製品が外れ、破損、転倒、けがをすることがあります。

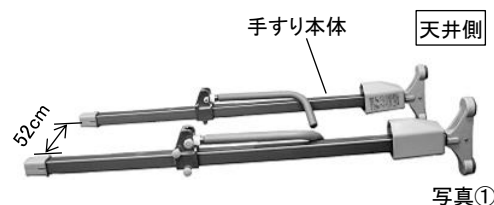
※設置前に、設置場所の天井や床、本体の滑止ゴム(タスカル天板、天井押さえ、アジャスター)を清掃し、必ず乾いた状態で設置してください。

※仮止めのまま使用しないでください。

※組み立てた状態でトイレに搬入できない場合は、トイレ内で組み立ててください。(P7 参照)

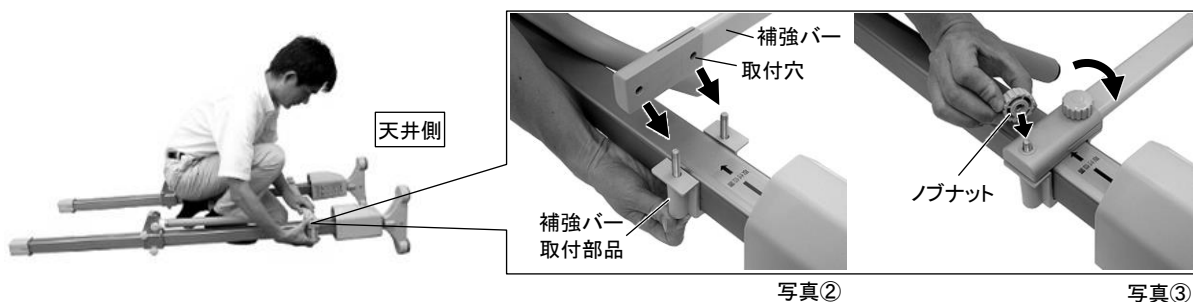
※タスカル天板は、タンク側の天井の端までピッタリ寄せて設置してください。

1. 手すり本体を約 52cm 離して平行に置いてください。(写真①)

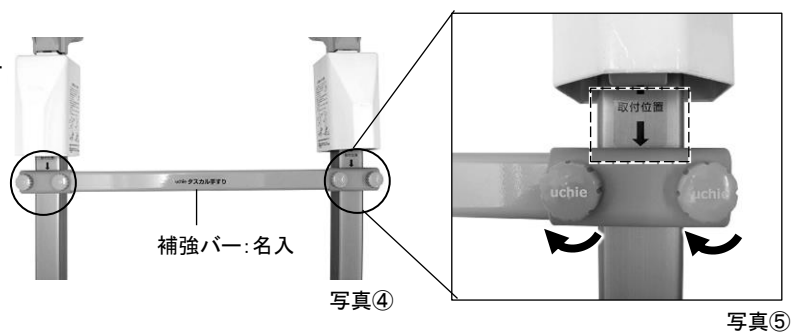


2. 補強バーを天井側から取り付けます。

ねじを通した補強バー取付部品を脚パイプの後ろから取り付け(写真②)、補強バー(上: 名入)の取付穴とねじを合わせて差し込み、ノブナットで仮止めしてください。(2ヶ所、写真③)

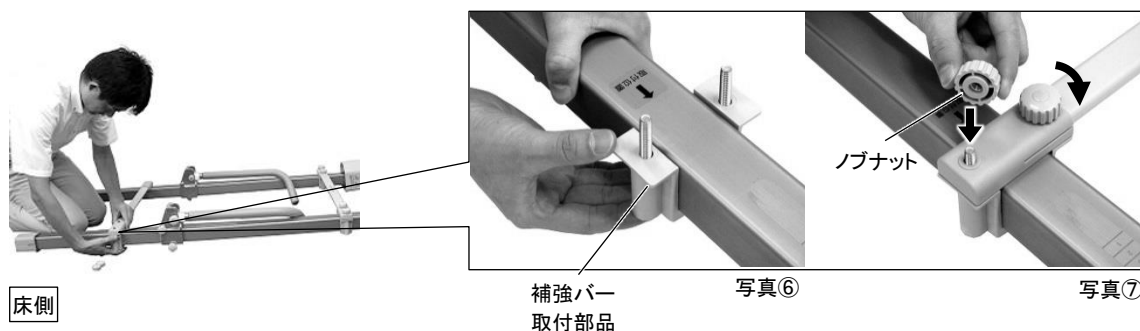


3. 反対側も同様に仮止めた後、補強バー取付部品の上側を取付位置の矢印に合わせ、ノブナットを確実に締めてください。(4ヶ所、写真④⑤)



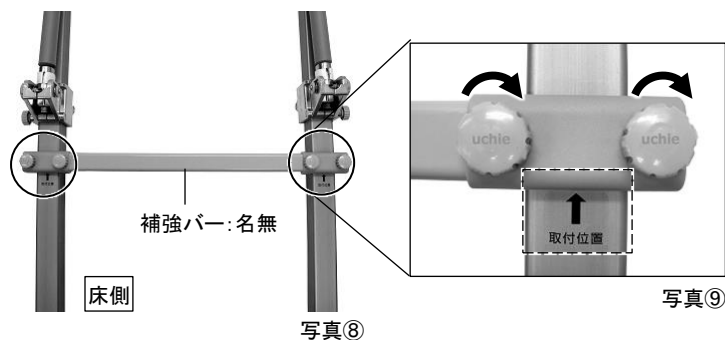
4. 床側の補強バーを取り付けます。

脚パイプを持ち上げてねじを通した補強バー取付部品をパイプの後ろから取り付け(写真⑥)、補強バー(下: 名無)の取付穴とねじを合わせて差し込み、ノブナットで仮止めしてください。(写真⑦)

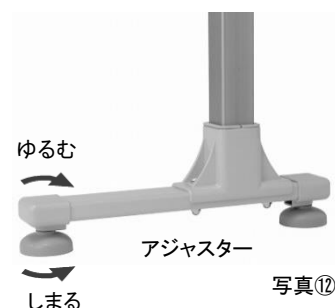


■設置方法-脚部以外を組立搬入する場合-

5.反対側も同様に仮止めした後、補強バー取付部品の下側を取付位置の矢印に合わせ、ノブナットを確実に締めてください。(4ヶ所、写真⑧⑨)



6.トイレのフタを閉め、脚部の長い方を前にして写真⑩⑪の位置に脚部を置いてください。ガタツキがある場合はアジャスターを回して調整し、ガタツキを抑えてください。(写真⑫)



注意

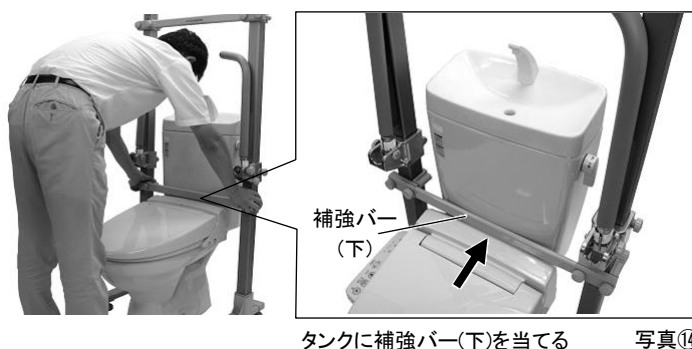
※アジャスターは5mm以上伸ばさないでください。本体が不安定になり、破損、転倒、けがをするおそれがあります。

7.肘掛けをはね上げた状態で組み立てた手すり本体を起し、脚部に差し込んでください。(写真⑬)



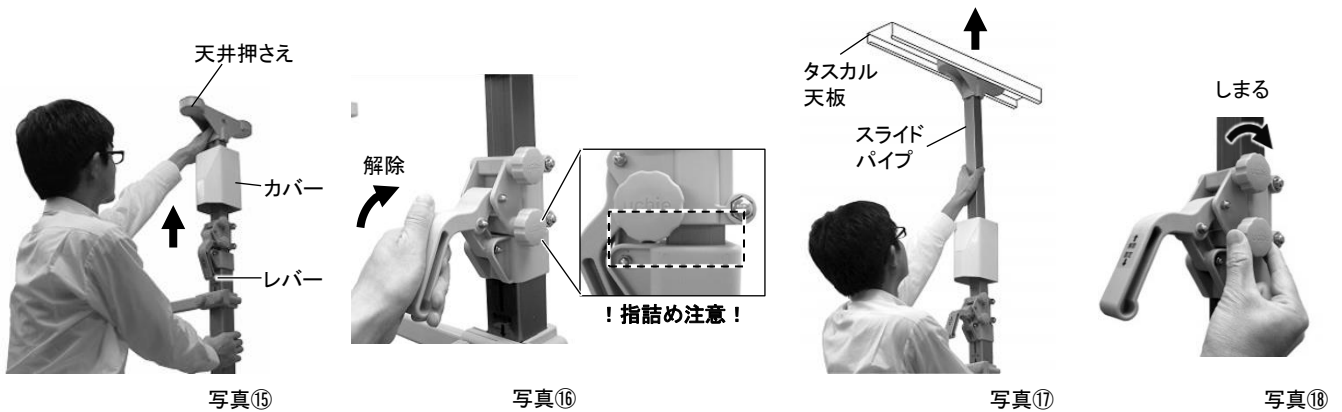
8.天井や床の状態、障害物の有無、トイレからの立ち上がりなどを考慮し、設置してください。

タンクがある場合は補強バー(下)をタンクに当ててください。(写真⑭)



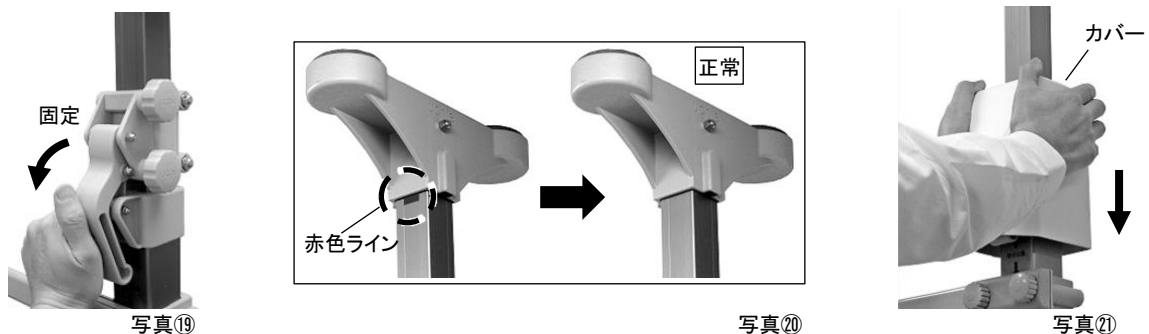
■設置方法-脚部以外を組立搬入する場合-

- 9.天井押さえを伸ばしてレバーが見えるまでカバーを上げてください。(写真⑮)
- 10.レバーを上げてください。(写真⑯)
- 11.タスカル天板を天井押さえにスライドして装着し、タスカル天板が天井に当たるまでスライドパイプを伸ばしてください。(写真⑰) **※タスカル天板は、タンク側の天井の端までピッタリ寄せて設置してください。**
- 12.スライドパイプを支えながら 2 個のノブナットを確実に締めてください。(写真⑱)



- 13.レバーを下げて赤色ラインが見えないことを確認してください。(写真⑲⑳) 赤色ラインが見える場合はやり直してください。その際は、天井にタスカル天板を少し強めに当てながらノブナットを確実に締め、レバーを下げてください。

赤色ラインが見えないことを確認し、レバーが隠れるまでカバーを下げてください。(写真㉑)



- 14.反対側も同じように組み立てて赤色ラインが見えないことを確認し、レバーが隠れるまでカバーを下げてください。

⚠ 注意

- ※設置後は P10 の点検項目に従い、必ず点検してください。
- ※赤色ラインが見えない事を確認し、使用してください。赤色ラインが見えると設置が不十分です。設置しなおしてください。
- ※再設置しても赤色ラインが見える場合は、天井や床の設置強度が不足している可能性があります。使用しないでください。
- ※垂直に設置してください。ななめに設置すると本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。設置後は前と横から確認、または、垂直器などで垂直に設置されていることを確認してください。
- ※レバーを下げる際はレバーで指をはさまないように注意し、最後まで確実に下げてください。
- ※必ずカバーをレバーにかぶせて使用してください。
- ※スライドパイプと脚パイプが確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。固定されるまで設置しなおしてください。
- ※滑止ゴム(タスカル天板、天井押さえ、アジャスター)が劣化している場合はすぐに交換してください。劣化したまま使用しないでください。
- ※本体 2 本で突っ張り、さらに補強バー 2 本で組み立てた状態で必ず使用してください。本体 1 本で突っ張った状態や補強バー 1 本で組み立てた状態では使用しないでください。
- ※タンクがある場合は、補強バー(下)をタンクに当てて組み立ててください。



■設置方法-トイレ内組立の場合-

⚠ 注意

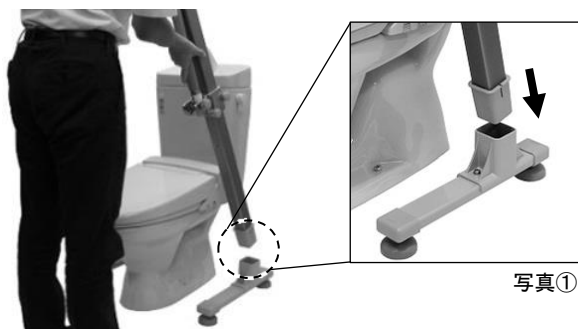
※製品の設置は必ず事業者の方が行ってください。手順通りに設置しないと製品が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。

※設置前に、設置場所の天井や床、本体の滑止ゴム(タスカル天板、天井押さえ、アジャスター)を清掃し、必ず乾いた状態で設置してください。

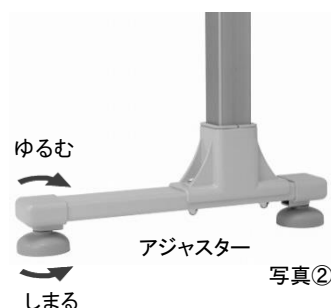
※仮止めのまま使用しないでください。

※タスカル天板は、タンク側の天井の端までピッタリ寄せて設置してください。

- 1.トイレのフタを閉めて設置場所に脚部1個を置き(長い方が前)、手すり本体を差し込んでください。(写真①)
ガタツキがある場合はアジャスターを回して調整し、ガタツキを抑えてください。(写真②)



写真①



写真②

⚠ 注意

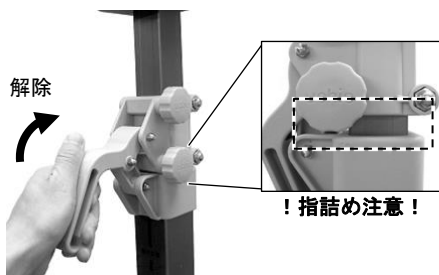
※アジャスターは5mm 以上伸ばさないでください。本体が不安定になり、破損、転倒、けがをするおそれがあります。

- 2.天井押さえを伸ばしてレバーが見えるまでカバーを上げてください。(写真③)
- 3.レバーを上げてください。(写真④)
- 4.タスカル天板を天井押さえにスライドして装着し、タスカル天板が天井に当たるまでスライドパイプを伸ばしてください。(写真⑤)

※タスカル天板はタンク側の天井の端までピッタリ寄せて設置してください。



写真③



写真④



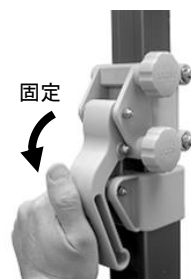
写真⑤

- 5.天井に軽く当てた状態で、スライドパイプを支えながら 2 個のノブナットを締め、レバーを下げてください。(写真⑥⑦)

※この段階では仮止めの状態です。手すり本体が倒れない事を確認してください。



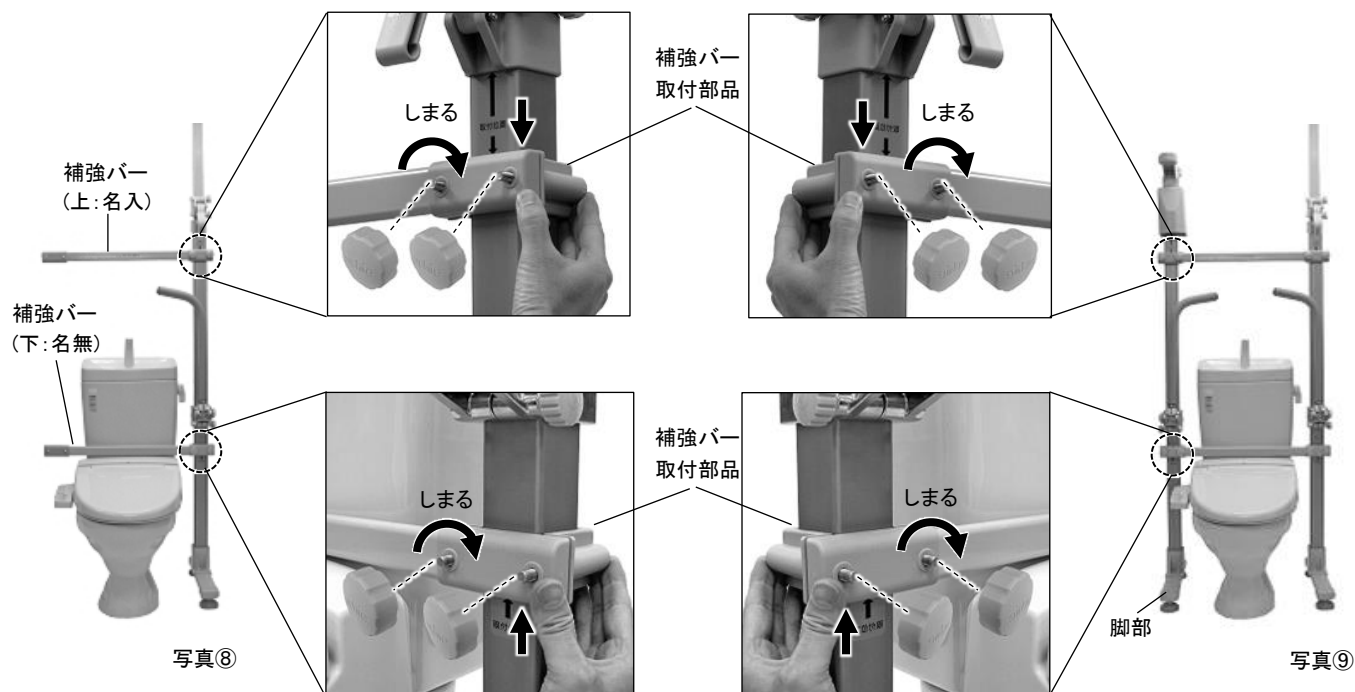
写真⑥



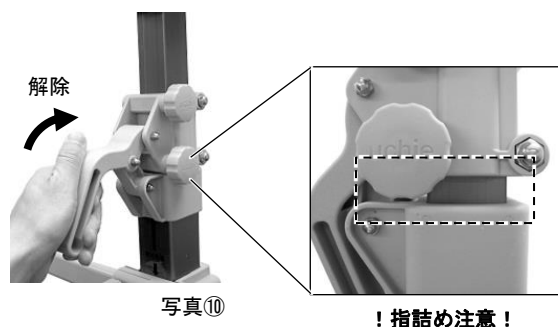
写真⑦

■設置方法-トイレ内組立の場合-

- 6.補強バー(上:名入、下:名無)を取り付けます。ねじを通した補強バー取付部品を脚パイプの後ろから取り付け、補強バー(上下)の取付穴とねじを合わせて差し込みます。補強バー取付部品を取付位置の矢印に合わせ、ノブナットを確実に締めてください。(4ヶ所、写真⑧)
- 7.反対側に長い方を前にした脚部を置いて手すり本体を差し込んでください。ガタツキがある場合はアジャスターを回して調整し、ガタツキを抑えてください。
同じように上下の補強バーを矢印に合わせて補強バー取付部品を取り付け、ノブナットで確実に締めてください。(4ヶ所、写真⑨)



- 8.最初に差し込んだ手すり本体(本書では向かって右)のレバーを上げてください。(写真⑩)

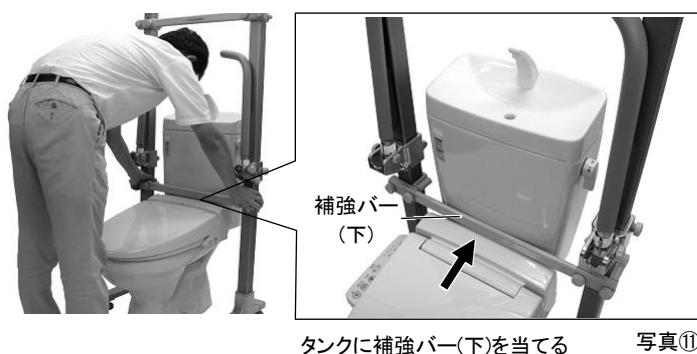


！指詰め注意！

- 9.天井や床の状態、障害物の有無、トイレからの立ち上がりなどを考慮し、設置してください。

本体が動かない場合はスライドパイプを少し縮めてから作業してください。

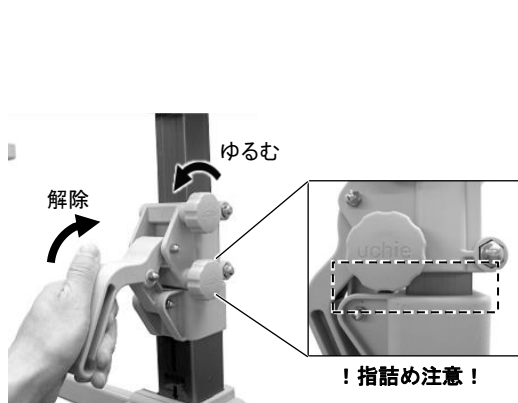
タンクがある場合は補強バー(下)をタンクに当ててください。(写真⑪)



写真⑪

■設置方法-トイレ内組立の場合-

10. 仮止めた側(本書では向かって右)のレバーを上げ、スライドパイプを支えながら2個のノブナットを取れない程度までゆるめてください。(写真⑫)
11. タスカル天板を天井押さえにスライドして装着し、タスカル天板が天井に当たるまでスライドパイプを伸ばしてください。(写真⑬) ※タスカル天板はタンク側の天井の端までピッタリ寄せて設置してください。
12. スライドパイプを支えながら、2個のノブナットを確実に締めてください。(写真⑭)



写真⑫



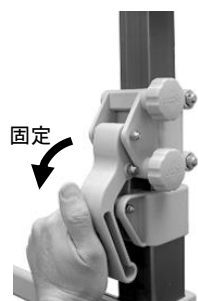
写真⑬



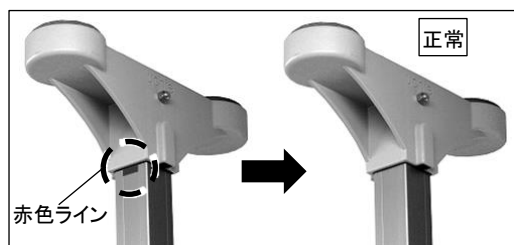
写真⑭

13. レバーを下げて赤色ラインが見えないことを確認してください。(写真⑮⑯) 赤色ラインが見える場合はやり直してください。その際は、天井にタスカル天板を少し強めに当てながらノブナットを確実に締め、レバーを下げてください。

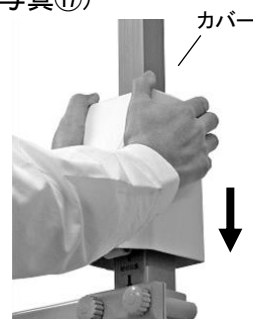
赤色ラインが見えないことを確認し、レバーが隠れるまでカバーを下げてください。(写真⑰)



写真⑮



写真⑯



写真⑰

14. 反対側も同じように組み立てて赤色ラインが見えないことを確認し、レバーが隠れるまでカバーを下げてください。

⚠ 注意

- ※設置後はP10の点検項目に従い、必ず点検してください。
- ※赤色ラインが見えない事を確認し、使用してください。赤色ラインが見えると設置が不十分です。設置しなおしてください。
- ※再設置しても赤色ラインが見える場合は、天井や床の設置強度が不足している可能性があります。使用しないでください。
- ※垂直に設置してください。ななめに設置すると本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。設置後は前と横から確認、または、垂直器などで垂直に設置されていることを確認してください。
- ※レバーを下げる際はレバーで指をはさまないように注意し、最後まで確実に下げてください。
- ※必ずカバーをレバーにかぶせて使用してください。
- ※スライドパイプと脚パイプが確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。固定されるまで設置しなおしてください。
- ※滑止ゴム(タスカル天板、天井押さえ、アジャスター)が劣化している場合はすぐに交換してください。劣化したまま使用しないでください。
- ※本体2本で突っ張り、さらに補強バー2本で組み立てた状態で必ず使用してください。本体1本で突っ張った状態や補強バー1本で組み立てた状態では使用しないでください。
- ※タンクがある場合は、補強バー(下)をタンクに当てて組み立ててください。



■設置後の確認

設置後はこのチェックシートで点検してください。チェックが付かない項目は参照先を確認し、必ず全ての項目にチェックが入るようにしてください。また、こちらの項目に従い、使用前に点検を実施してください。点検でチェックが付かない場合はすぐに使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。

	点検項目	参照先		✓印	対処
		組立 搬入	トイレ内 組立		
1	肘掛けのノブナットは確実に締まっていますか？ (ジョイント部 2ヶ所、取付部 1ヶ所)	P3			ゆるんでいる場合はノブナットを締めてください。異常がある場合は使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。
2	補強バー固定ノブナットは確実に締まっていますか？(8ヶ所)	P4,P5	P8		ゆるんでいる場合はノブナットを締めてください。異常がある場合は使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。
3	アジャスターは5mm以上伸ばしていませんか？	P5	P7,P8		5mm以上伸ばしている場合は使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。
4	スライドパイプ固定ノブナットは確実に締まっていますか？(4ヶ所)	P6	P9		ゆるんでいる場合はノブナットを締めてください。異常がある場合は使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。
5	レバーを下げた状態で赤色ラインは見えていませんか？	P6	P9		赤色ラインが見える場合は使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。
6	レバーはカバーで隠れていますか？	P6	P9		カバーを下げてください。異常がある場合は使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。
7	垂直に立っていますか？	P6	P9		垂直でない場合は使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。
8	タスカル天板は天井押さえに装着され、タンク側の天井の端までピッタリ寄っていますか？	P6	P9		異常がある場合は使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。
9	本体にぐらつきはありませんか？	-			異常がある場合は使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。

⚠注意

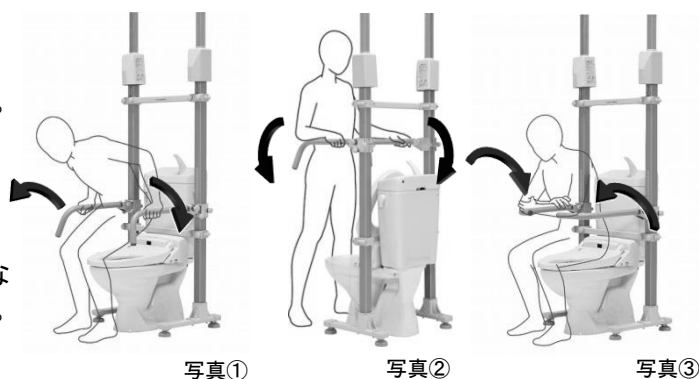
※家屋の経年変化により天井や床の強度が変化し、本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。使用する際は必ず固定されているか確認してください。ぐらつく場合はすぐに使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。

■肘掛けの取り扱い方

●前方グリップの取り扱い方

・前方グリップを外側に回転させると開きます。
移乗時や立ち上がり時、立ち小乗の際にご使用ください。
(写真①②)

・前方グリップを内側に回転させると閉じます。
閉じた前方グリップに身体を預ける事で排泄しやすい前傾姿勢が安定して取れます。前傾姿勢がうまく取れない方、補助がないと座位が保てない方におすすめです。
(写真③)



⚠注意

※立ち座りの際は、次の事に注意してください。

- ・肘掛けを内側や外側に回転させるような使用はせず、肘掛けを垂直に押すように使用してください。不意に肘掛けが回転し、転倒、けがをするおそれがあります。
- ・前方グリップの片側だけに荷重を掛けたり、前方グリップを手すり代わりにして横方向に力をかけないでください。また、前方グリップに腰掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

※使用者が前方グリップを支えにしての移動や立ち上がりはしないでください。転倒、けがをするおそれがあります。

※前方グリップを閉じたまま立ち上がらないでください。

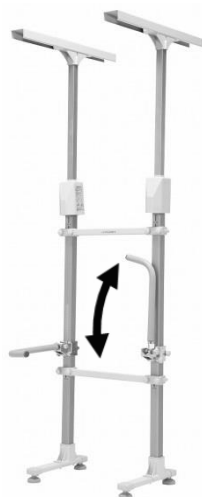
※座った状態で前方グリップを持って極端な前のめり姿勢にならないでください。バランスを崩し、転倒の原因となります。

※前方グリップを引っ張ったり押さないでください。クッションや肘掛けが破損したり、製品が外れ、転倒、けがをするおそれがあります。

■肘掛けの取り扱い方

●はね上げ方

肘掛けをはね上げる事ができます。肘掛けをはね上げて移乗し、移乗後は肘掛けを下ろして使用してください。



写真①



写真②

⚠注意

※洋式トイレに座った状態で使用する際は必ず前方グリップを外側に開いてからのはね上げ、下ろす操作をしてください。前方グリップを閉じたままのはね上げ、下ろす操作をすると使用者に当たります。

※肘掛けをはね上げ、下ろす際はゆっくり操作し、可動する肘掛けと肘掛けジョイントとのすきま(写真①②)などで手や指をはさまないように注意してください。

※はね上げた肘掛けを他方向から押さないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

※洋式トイレに座った状態では必ず肘掛けを下ろして使用してください。

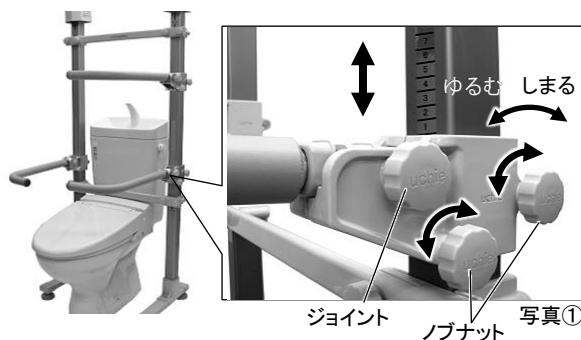
※肘掛けを引っ張ったり押さないでください。クッションや肘掛けが破損したり、製品が外れ、転倒、けがをするおそれがあります。

●肘掛け高さ調節

肘掛けの高さが床から 69.5～133.5cm まで、無段階に調節できます。(目盛りは 1～20 段階:71～89cm)

目盛り

- 1.肘掛けジョイントを持ち、ノブナット2個を取れない程度までゆるめます。(写真①)
- 2.目盛りを参考に肘掛けの高さを調節してください。肘掛けの高さは、目盛り外でも調節できます。
- 3.高さ調節後、ノブナット2個を確実に締めてください。



⚠注意

※高さ調節後はノブナット2個をしっかり締め、肘掛けが確実に固定されているか確認してください。

■交換部品

●肘掛けの交換方法

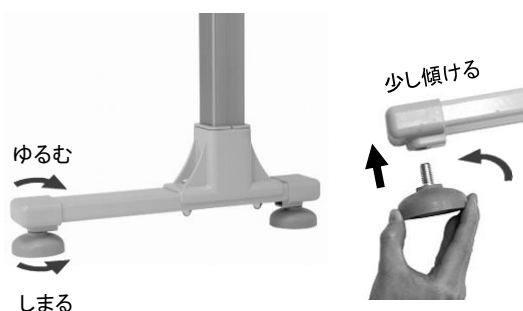
P3 の肘掛けの組立方法を参照してください。

●アジャスターの交換方法

- 1.アジャスターを回して取り外し、新しいアジャスターを回して取り付けてください。

⚠注意

※アジャスターを交換する際は、脚部をアジャスター側に少し傾けて交換してください。受けのナットが落ちるおそれがあります。



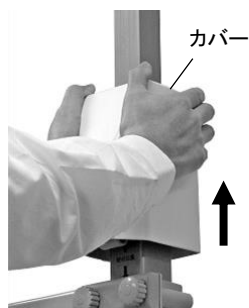
■撤去方法



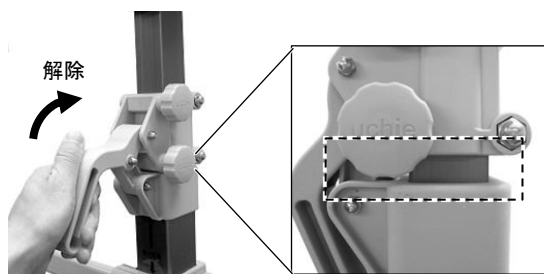
注意

※製品の撤去は必ず事業者の方が行ってください。手順通りに撤去しないと製品が外れ、破損、転倒、けがをすることがあります。

1. ノブナットが見えるまでカバーを上げてください。(写真①)
2. レバーを上げてください。(写真②)
3. スライドパイプを支えながら 2 個のノブナットを取れない程度までゆるめてください。(写真③④)



写真①



写真②

！指詰め注意！



写真③



写真④

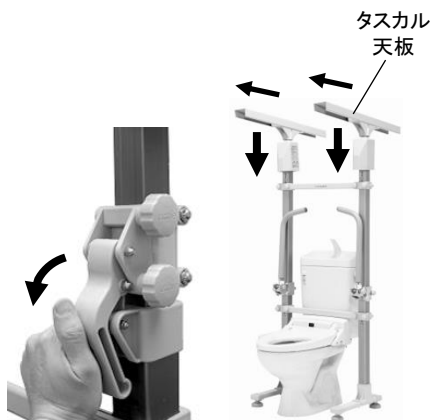


注意

※ノブナットをゆるめるとスライドパイプが縮みます。しっかり支え、指詰めに注意してください。

4. スライドパイプを支えたままレバーを下げ(写真⑤)、スライドパイプを完全に縮めてください。(写真⑥)
5. 反対側も同じようにスライドパイプを完全に縮め、タスカル天板を抜いてください。(写真⑥)
6. 肘掛けをはね上げた状態で脚パイプを持って脚部から抜いてください。(写真⑦)

脚部から抜けない場合は、脚部を樹脂ハンマーや木ハンマーで軽く叩きながら抜いてください。



写真⑤



写真⑥



写真⑦

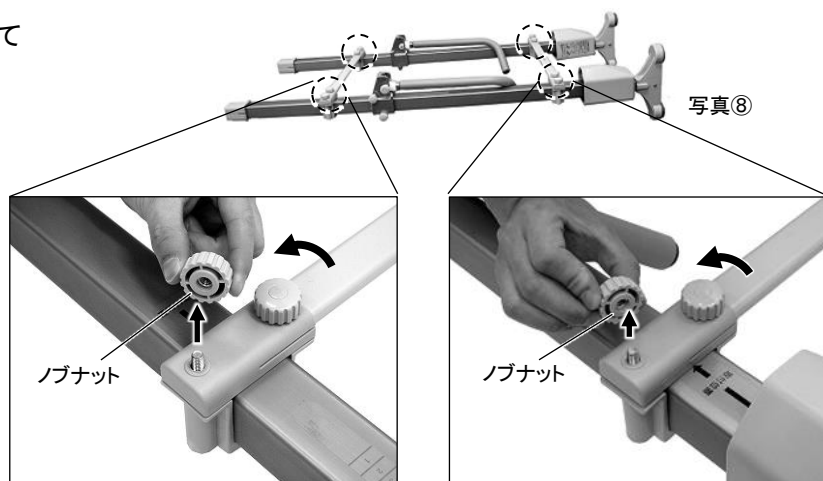


注意

※タスカル天板が落ちないように注意してください。

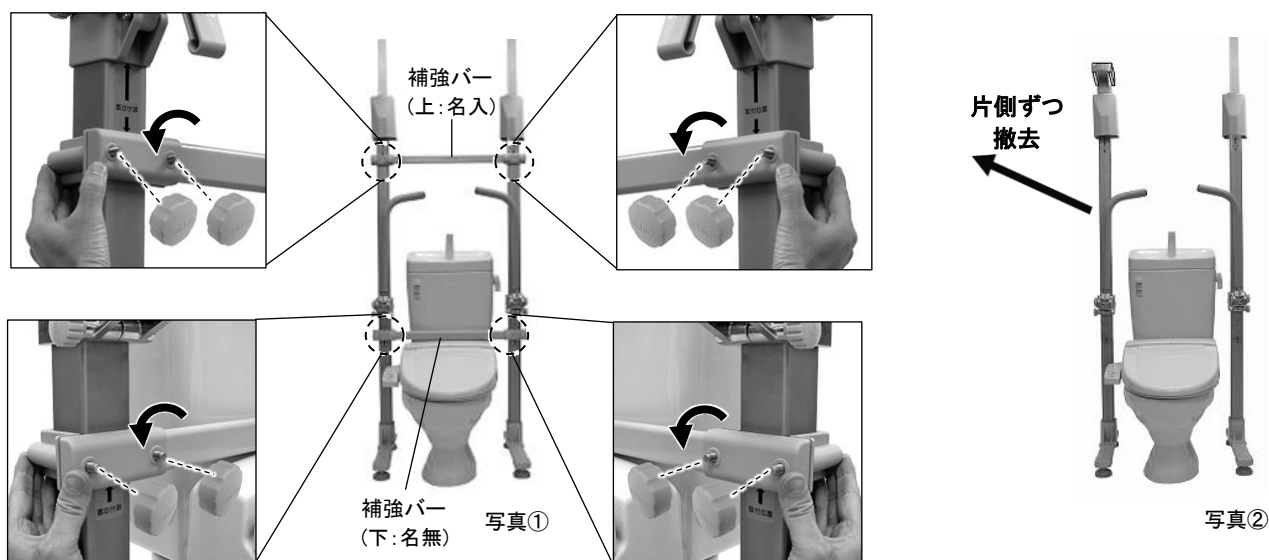
※スライドパイプを縮めずに無理やり取り外さないでください。部品の破損や、天井、床を破損するおそれがあります。

7. 補強バー(上下)の固定ノブナットをゆるめて外し、補強バー(上下)を取り外してください。(写真⑧)



■撤去方法

※補強バー(上下)を取り付けた状態で撤去できない場合は、先にトイレ内で補強バー(上下)を外してから(写真①)、片側ずつ、スライドパイプを支えながら手すり本体を撤去してください。(写真②)



⚠ 注意

※補強バー(上下)を外した際は、必ずスライドパイプを支えてください。レバーを上げた途端にスライドパイプが縮んで本体が外れ、破損、けがをするおそれがあります。
※タスカル天板が落ちないように注意してください。

※取り外したねじや部品(P3 参照)は再設置の際に使用します。紛失しないように保管してください。

■点検

- ・P10 の項目に従い、使用前に点検を行ってください。点検で不具合が見つかった場合は直ちに使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。
- ・地震が発生した場合は、天井押さえから赤色ライン(P6)が見えていないか必ず確認してください。赤色ラインが見えている場合はすぐに使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。

■保管方法

長期間使用しない場合は、下記の点にご注意ください。

- ・戸外や雨に濡れるような場所、潮風の当たる場所、風通しの悪い場所に放置しないでください。
- ・濡れたまま保管せず、よく乾燥させてから保管してください。
- ・直射日光に当たらないように注意してください。
- ・高温や低温、多湿、ほこりの多い場所を避けてください。
- ・ストーブなど火気の近くに放置しないでください。
- ・製品の上に何も載せないでください。

■お手入れの方法

1. 薄めた中性洗剤を含ませたやわらかい布を絞り、汚れを拭き取ってください。
2. 水を含ませたやわらかい布を絞り、残った洗剤分を拭き取ってください。
3. 最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。

⚠ 注意

※塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、使用者・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。
※直射日光に当てないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。また、退色するおそれがあります。
※熱湯をかけないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。
※肘掛けクッションや滑止ゴム(タスカル天板、天井押さえ、アジャスター、肘掛け)は消耗品です。汚れたり破損した場合はお買い求めの上交換してください。

⚠ 安全上の注意事項

- 本製品は室内専用です。屋外では使用しないでください。
- 本製品を本来の目的以外で使用されたり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- 2人以上で使用しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 浴室には設置しないでください。
- 使用者による設置や移動、撤去は行わず、必ず事業者の方が行ってください。手順通りに設置しないと製品が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 梁のない天井には設置しないでください。十分な天井強度が得られず、使用中に本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。また、天井を破壊するおそれがあります。
- 天井の高さを確認してください。本製品の取り付け天井高さは、190cm～260cmです。これ以外の天井高さには設置しないでください。十分な設置強度が得られず、使用中に本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- やわらかい床やマットなどを敷いた床に設置しないでください。十分な床強度が得られず、使用中に本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 段差や傾斜のある床には設置しないでください。使用中に本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 濡れている床には設置しないでください。不意に外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- アジャスターは5mm以上伸ばさないでください。本体が不安定になり、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 垂直に設置してください。使用中に本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 本体2本で突っ張り、さらに補強バー2本で組み立てた状態で必ず使用してください。本体1本で突っ張った状態のみや、補強バー1本で組み立てた状態では使用しないでください。
- 補強バー(上下)は50cm以上離して取り付けてください。
- ノブナット(補強バー固定、スライドパイプ固定、肘掛け取付、肘掛けジョイント)をしっかり締めてください。
- 滑止ゴム(タスカル天板、天井押さえ、アジャスター、肘掛け部)は消耗品です。傷や摩耗が激しく、滑り止め効果が発揮できない場合は交換してください。
- レバーにカバーを必ずしてください。不意にレバーが動き、本体が外れるおそれがあります。
- レバーの操作時は指詰めに注意してください。
- 安心、安全にお使いいただくため、使用前に点検を実施してください。(P10 参照) ねじのゆるみや本体のガタつき、破損などを発見した場合は直ちに使用を中止し、設置事業者にご連絡ください。
- 脚パイプやスライドパイプ、補強バーに強い衝撃を加えたり、勢いをつけて押す、引く、回すなどしないでください。破損するおそれがあります。また、本体が不意に外れ、転倒、けがをするおそれがあります。
- 濡れた手で使用しないでください。不意に滑り、転倒、けがをするおそれがあります。
- アジャスターが濡れた状態で使用しないでください。本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 設置中は脚部アジャスターに水が掛からないようにしてください。本体がずれ、外れて破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや前方グリップ、補強バーに重いものを引っ掛けしないでください。本体が外れたり、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや前方グリップ、補強バーに腰掛けたり、もたれる、ぶら下がるなどしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや前方グリップをはね上げたり戻す時に、すきまに指を入れないでください。はさんでけがをするおそれがあります。
- 肘掛けや前方グリップをはね上げた際は、必ず水平に戻してください。はね上げた肘掛けや前方グリップに荷重をかけると破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 本体に上向きの力をかけないでください。本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 本体や肘掛け、前方グリップ、補強バーを押したり引くなど水平方向に強い力をかけないでください。本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 脚部に足を引っ掛けないように注意してください。本体が外れ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
 - ・戸外・雨に濡れるような場所・直射日光のあたる場所・冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
 - ・潮風の当たる場所・ストーブなど火気の近く・高温多湿、低温な場所・風通しの悪い場所
- 製品を保管する際は、製品の上に何も載せないでください。変形、破損するおそれがあります。
- スプレータイプの殺虫剤などを直接噴射しないでください。本体が劣化し、破損、けがをするおそれがあります。

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

ウチエ株式会社 サービス係

本社/大阪営業所 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町 2-8-29 TEL(06)6482-0230 FAX(06)6401-6372
関 東 営 業 所 〒271-0087 千葉県松戸市三矢小台 4-12-3 TEL(047)362-0311 FAX(047)362-0312
福 岡 営 業 所 〒819-1107 福岡県糸島市波多江駅北 4-6-5 TEL(092)323-4331 FAX(092)323-4332

兵 庫 工 場 〒673-1334 兵庫県加東市吉井 732-1

検査印

●常に皆様のご要望に応え、改善して参りますので、デザイン・色柄・仕様は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

18.4.V